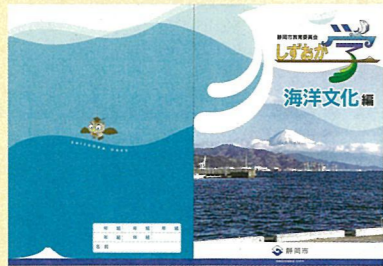


静岡市ならではの特色ある教育

地域社会や世界で活躍する「グローバル人材」を育てるために、すべてのグループ校で「しずおか学」と「英語力の向上」に取り組みます！

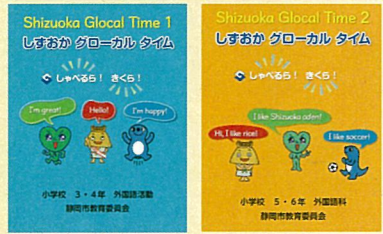
しずおか学「しずおか学副読本」



「しずおか学」とは、郷土を舞台とした学習です。地域の特色に応じて、各グループ校が選択して学べる教材を作成しました。主に総合的な学習の時間に活用し、地域への愛着と誇りを育てていきます。
【6分野】お茶・しずまゑ・オクスズ・海洋文化・防災・歴史文化



英語力の向上「しずおかグローバルタイム」



静岡市を学習素材として楽しく学び、郷土愛を育み、静岡市の魅力を英語で発信できる授業を展開するための教材を作成しました。主に「話す」「聞く」場面で活用し間違いを恐れずにコミュニケーションする力を育てていきます。



グローバル人材の育成「静岡市SDGs中学生サミット」開催

静岡市が推進するSDGsの取組の一つとして、市内全43中学校の代表生徒が集まり、「静岡市SDGs中学生サミット」を開催しました。世界的な視野をもってSDGsの視点で、自分たちの生活や取組を見つめることを通して、日頃から行っている身近な活動が世界を良くしていくことにつながることを確認し合いました。



静岡市SDGs中学生サミット第1部（静岡市役所） 静岡市SDGs生徒会取組発表会

各中学校の代表生徒が、自校の生徒会活動の取組等について、SDGsの視点で見つめ直したことや考えたことを発表しました。



静岡市SDGs中学生サミット第2部（静岡市議場） 静岡市SDGs中学生議会

静岡市の取組を、SDGsの視点で見つめ直し、自分たちにできることや自分たちに期待することについて、市の職員に質疑しました。また、中学生宣言を採択しました。



SDGsへの取組

中学生サミットの開催をきっかけとして、各学校でSDGsに向けた取組が行われています。



生徒総会で生徒会活動をSDGsの視点で考える（城山中）



社会科で自分たちにできることを発表する（豊田中）



他の学校と、互いのSDGsの取組について、ネットワーク上で意見交換する（大川小中と井川小中、梅ヶ島小中と大河内小中）

静岡市教育委員会事務局教育局 学校教育課

〒424-8701 静岡市清水区旭町6番8号 TEL:054-354-2519・2521 FAX:054-354-2481

◆学校教育課ホームページで静岡型小中一貫教育の進捗状況をご覧ください

http://www.city.shizuoka.jp/314_000037.html

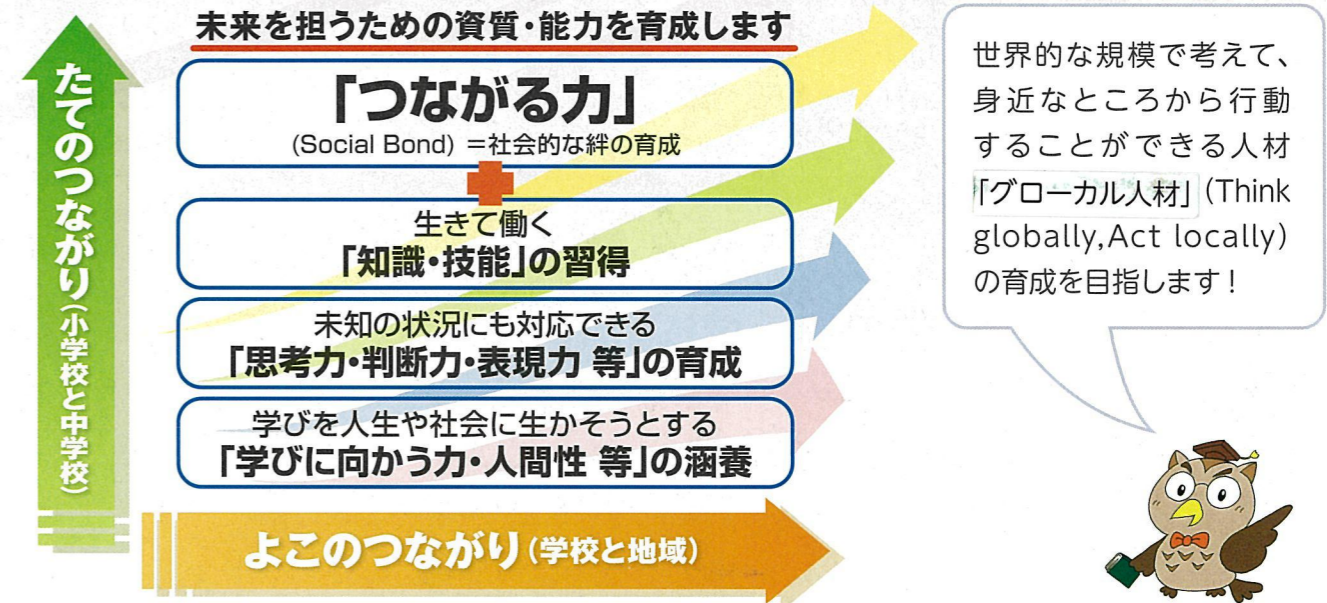
静岡型小中一貫教育 検索

2022年度
全市一斉スタート！

つながる力を育てる

静岡型小中一貫教育

静岡型小中一貫教育は、小学校と中学校の「たてのつながり」と、学校と地域の「よこのつながり」を強化した、9年間の一貫した教育です。各地で、地域ならではの特色ある教育の実施に向けた準備が進んでいます。



4つの視点を踏まえ、9年間を見通した教育を展開します。

視点
1

目指す子どもの姿や学校の教育目標などを小学校と中学校で共有します。

視点
2

授業の進め方を小学校と中学校の先生と一緒に考えるなど、9年間の連続性、系統性のある教育を実施します。

視点
3

行事の合同開催など、小学生と中学生の交流や、教職員が協働する教育を実施します。

視点
4

学校と地域が目指す子ども像を共有し、地域活動に小・中学生が参加するなど、地域と連携した教育を実施します。



2022年度スタートに向け、各グループ校で 様々な取組が行われています!

2019	2020	2021	2022
第Ⅰ期実践研究グループ	第Ⅱ期実践研究グループ		
すべてのグループでの学校・保護者・地域が協働した準備			全市一斉スタート
広く市民へのPR活動			

※実践研究グループとは、本市の目指す小中一貫教育の普及を図るため先駆的に実践研究を行うグループ校で、Ⅰ期とⅡ期があります。
 第Ⅰ期(2018～2019): 美和中グループ、城内中グループ、東中グループ、中島中グループ
 第Ⅱ期(2020～2021): 末広中グループ、安東中グループ、東豊田中グループ、清水第一中グループ

静岡型小中一貫教育スケジュール



視点 1

学校の教育目標などを小学校と中学校で共有します!

学校の教育目標や 具体的取組の共有 (各グループ校)



各グループ校で組織される「小中一貫教育準備委員会」の場で、9年間で目指す子どもの姿や、その実現に向けた具体的な取組が話し合われます。話し合われた内容は小中一貫教育構想としてまとめられ、学校・保護者・地域で共有されます。

〈話し合われていること〉

- ・中学校区の子どもに願う姿
- ・小学校と中学校の9年間で取り組むこと
- ・地域の方と一緒に取り組むこと
- ・一年間の振り返りと次年度の方向性等



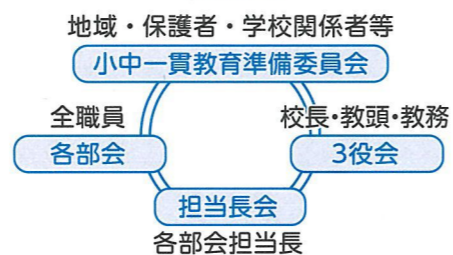
「目指す子どもの姿」を共有するための組織づくり(東中グループ)

学区が広域で、教職員数も多い東中グループでは、全職員が、9年間で目指す子どもの姿を共有し、同一方向を向いた教育を展開できるよう、小中一貫を推進するための組織づくりを行いました。



学校づくり(ビジョン)が共有されました

〈組織図〉



視点 3

こんな児童・生徒交流、教職員協働の取組が行われています!



中学校区合同集会の開催 (城内中グループ)

平成30年4月下旬、同じグループ校の仲間であることを意識することを目的に、城内中、葵小、伝馬町小の児童・生徒約1,400人が駿府城公園に集まり、各校のあいさつや学校対抗ジャンケン大会が開催されました。

同じ活動をすることで一つになれた感じがしました

小学校合同体力テストの実施 (美和中グループ)

グループ校内の小学校が一堂に会し、体力テストを実施しました。児童の競い合う心が強まったり、互いを褒め合ったりする場面が増え、記録の向上につながりました。



いつもよりがんばろうという気持ちがわいてきました

視点 2

9年間の連続性、系統性のある教育が行われています!



安心して学校生活をスタートできるための取組 (蒲原中グループ)

小学校入学当初の1年生が就学前に培ってきた力を発揮し、安心して学校生活をスタートできるよう、全校で1年生とかかわり、出会いの喜びや学校の楽しさを感じることができる環境を整えています。

学校はたのしいよ! 先生! きいて! きいて!

自助と共助の自覚を育てる防災教育の実施 ~防災ボックスの作成~ (中島中グループ)

小学校・中学校の9年間を通して、地域と歩む「防災教育」を実施しています。全ての児童・生徒が、被災地に役立つグッズや非常食を詰めた防災ボックスを作成しました。また、防災マップを作成し、自治会に寄贈するなど、共に災害に備えています。

自分たちの命は自分たちで守ろうね



9年間の系統性を踏まえた授業づくり(長田南中グループ)

3校の教員が教科ごとグループに分かれ、小学校の教科書を基にして、系統性について意見交換しました。子どもの発達段階に応じた指導の在り方などについても共有することができました。

小学校と中学校で、お互いの学習内容を確認しておくことは大切ですね



視点 4

地域と連携した教育が行われています!

地域を舞台とした学習発表会の開催 (玉川中グループ)

「地元・玉川」をテーマとして、課題追究したことについて、地域の方を招待し、学習発表会を開催しました。中学校ではSDGsに結び付けた発表が行われました。

地域のことをしっかり考えていてうれしく思います



生涯学習センターと連携した合同美術展の実施 (美和中グループ)

北部生涯学習センター美和分館「アカデ美和」と連携し、合同美術展を開催しました。児童・生徒の作品の他、近隣のこども園、保育園の園児たちの作品が展示され、多くの地域の方が鑑賞しました。

大きくなったらお兄さんやお姉さんのような絵を描きたい!



地域の魅力を静岡駅前イベント広場で発信 (梅ヶ島小中学校)

11月に梅ヶ島で実施される「ふるさと祭り」のPRのため、総合的な学習の時間の中で作成した、自作のPRパンフレットを、静岡駅前イベント広場で配布しました。当日は、梅ヶ島の特産品をPRしました。

梅ヶ島の魅力をたくさん発信できました!



静岡市子どもPR隊

2018年度から、静岡市の広報課と教育委員会が連携し「静岡市子どもPR隊」を認定しています。自分たちの学んだ静岡市の自慢を、静岡市内や市外に発信する子どもたちに、缶バッジを贈呈しています!

